

第4回 原村総合計画審議会への質疑等について

石川 高明

- 1-1-5 道路の支障木伐採の基準はあるのでしょうか。
- 1-2-2 広域でのゴミ処理に関して、原村が毎年負担している金額がいかほどか。どれくらい原村から排出されるゴミが減れば、どれくらい負担が減るのか数字があるのでしょうか。
- 1-5-1 払沢フラワー団地が売れ残っている理由は把握していますか。原因を突き止めた上で、新しい団地整備をする考えはないのでしょうか。
「原村の人口か横ばい」という認識は果たして正しいのでしょうか。現状での人口の数字をご教示願いたい。
- 1-5-4 公園の整備について、各地区の広場グラウンドというのは、どこが土地を提供し、整備されたものなのでしょうか。どうやってできたのでしょうか。
- 1-6-1 県道の記述に、通称八ヶ岳はちまき道路が入っていませんが、どうなっていますか。富士見側には一部歩道があり、以前報道で原村方面まで歩道を整備するという記事が載っていました。県に確認していただきたい。
- 1-6-2 一部の村道、林道ではスピード超過が見られます。メリハリをつけて、特に歩道が整備できない村道、林道には、段差をつけた減速帯（スピードハンプ）をつけてはどうか。具体的には林道横見山線です。通勤通学時に児童がバスに乗るために歩いているが、すごいスピードですり抜ける車があります。
- 1-6-4 ここ 10 年ほどのセロリン号の利用者推移を、路線ごとに出してください。本当に利用が減っているのか、どこが増えているのか把握したいです。

最後に、SDGs のアイコンを見直して欲しいと思います。

例えば、(1-7-7) の住民相談の充実は、今のアイコン 11 だけではなく、アイコン 5 ジェンダーの平等…やアイコン 16 すべての人に司法へのアクセス…は必要だと思えます。

全体的に足りない気がします。

以上